

「  
音楽コンクール・赤船祭に向けて  
～ クラス一体となるパワーワード ～」

本題材で育成する資質・能力

(学校) 主体性, コミュニケーション能力

- 1 日時 令和4年10月5日(水) 12:55～13:45
- 2 学年 第3学年3組 (男子14名 女子16名 合計30名)
- 3 場所 本館3F 3年3組教室
- 4 題材について

## ○ 題材観

本題材は、学習指導要領特別活動〔学級活動〕内容(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」のウ「学校における多様な集団の生活の向上」にかかわるものである。

学校行事を通じて向上したリーダーとしての自覚や集団活動を、毎日の学校生活に置き換えて生活するには、クラスで課題をさぐり目標を見いだす必要がある。そのため、生徒の興味関心が高い学校行事を通じて、互いの良さを認め合いながら、より具体的に目標を設定し、次のステージへの成長、ゴールに向けての自分たちがどうありたいかを考えていける題材である。

## ○ 生徒観

本学級の生徒は、非常に落ち着いて学校生活に取り組んでいる。行事ごとにもまじめに取り組み、仲間と協力しながら前向きに取り組んでいる。しかし、自分から行動することに苦手意識があり、失敗を恐れて前に出にくい場面が見受けられる。

話し合い活動は積極的にに行えることから、「こうなりたい」という気持ちや具体的な行動などを全体で考えることはできるが、実際の行動につながっていないと思われる。

赤船祭や今後の学校生活まで広い視点でどのようなことが必要か考え、学級での合意形成を図りながら、実践する方法を設定、取組、検証、改善していきたい。

## ○ 指導観

指導に当たっては、学校全体で行ってきた合意形成能力を重視した「話し合い」活動を行う。「話し合い」活動を通じて、3年生の学年としての長所、短所に気づき、その上で、生徒一人一人に、自己の個性を見つめさせる。生徒一人一人が、これからチャレンジする受験、そして中学校生活の最後を飾る卒業式に向け、どのように自己の課題に取り組んでいくか、考えを深めさせる。話し合いを通し、相手の意見を聞いて、自分の考えを広げたり、課題について多面的・多角的に考えていきたい。

このように、クラスでの実態把握、目標設定、取組、検証、改善というマネジメントサイクルを回して学級づくりを進めていき、自分の考えを積極的に伝え合う話し合い活動を通して合意形成や意思決定を行うことのできる生徒の育成を図りたい。生徒の思いが生きるよう議長団が話し合いの内容を考え、提案していく生徒主体で行う。

## 5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本題材においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

	資質・能力	意欲・態度	知識・スキル		
		主体性 (自己を認識する力、 自分の人生を選択する力)	コミュニケーション能力 (表現する力)		
授業の展開の場面で(ミニホワイトボード等を使用して)	レベル1	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 speak) ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	(聞く) ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問することができる。
	レベル2	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 tell) ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	(聴く) ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて、内容を深めるために、質問ができる。
	レベル3	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 talk) ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	(訊く) ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。
	レベル4	やりたいことを自ら見つけ、分析し、(大人のカも借りながら)自分たちで実行できる。	少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。		

## 6 単元目標

- 生徒会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合うことができる。

## 7 評価規準

知識及び技能 (何をしているか, 何ができるか)	思考力, 判断力, 表現力等 (知っていること, できることをどう使うか)	学びに向かう力, 人間性等 (どのように社会・世界と関わり, よりよい人生を送るか)
学級生活の向上や諸問題の解決に関心をもち, 行事や進路実現へ向けた活動に自主的, 自立的に取り組もうとしている。	学級の一員として自己の役割と責任をもち, 諸問題の解決に向けて多様な意見を生かし合い, その方法を考え, 判断し, 互いに信頼し合って実践している。	行事を成功させる意義やそれに向けて学級で取り組むことの意義, 進路実現等の諸問題の解決方法について理解している。

## 8 指導計画

### 教科・領域の本質的な問い

- ・良い卒業式を迎えるためには何が大切か。

過程	活動の場	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
事前指導	議長団	・どのような問いなら自分たちの思いを込めて考えられるか。	・議長団の思いやクラスの雰囲気を考え内容を検討する。	・話し合い活動が深まるよう自主的, 自立的に準備を進めようとしている。(知・技)
課題の設定	話し合い活動 (学級全員)	・どのような音楽コンクールや赤船祭にしていきたいか。	・行事だけでなく, 広い視点で考えるようにする。	・話し合い活動が深まるよう自主的, 自立的に準備を進めようとしている。(知・技) 【観察・ワークシート】
目標設定	話し合い活動 (学級全員) 【本時】	・「音楽コンクール, 赤船祭のパワーワードを考えよう」という議題のもと, 2学期の活動で自分達がどう行動していくかを考える。	・日比崎中学校のこれまでの先輩達から受け継いだものや, 自分達の良さ(新しい伝統), 1・2年生にも伝えたいことを意識させるようにする。	・学級生活の向上や諸問題の解決に関心をもち, 行事へ向けた活動に自主的, 自立的に取り組もうとしている。(知・技) 【観察・ジャムボード】
事後指導	音楽コンクール・赤船祭準備期間	・決まったパワーワードを活用し, 本番に向けて気持ちを作る。	・自ら意識できるような声かけを行う。	・学級の一員として自己の役割と責任をもつ。
実践	赤船祭 (学級全員)	・音楽コンクール ・赤船祭本番	・3年生として, 後輩から憧れられるような姿を見せることを意識させるようにする。	・学級の一員として自己の役割と責任をもち, 諸問題の解決に向けて多様な意見を生かし合い, その方法を考え, 判断し, 互いに信頼し合って実践している。 (思・判・表) 【観察】

振り返り	話し合い活動 (学級全員)	・行事を通して得たもの、課題について考える。 ・音楽コンクール・赤船祭を終えて、実際にやってみてどうだったのか、自分達の成長を確認する。	・生徒の活躍について、具体例を示して賞賛する。 ・成果と課題を具体的に記入するよう助言する。	行事を成功させる意義やそれに向けて学級で取り組むことの意義、進路実現等の諸問題の解決方法について理解している。 (学び・人間性) 【観察・ジャムボード】
今後に向けて	話し合い活動 (学級全員)	・身についた力は今後どのようなところになるか・使っていきたいかを考える。	・長い先を見た広い視点で考えるようにする。	行事を成功させる意義やそれに向けて学級で取り組むことの意義、進路実現等の諸問題の解決方法について理解している。 (学び・人間性) 【観察・ジャムボード】

## 9 本時の展開

### (1) 本時の目標

○議題「音楽コンクール、赤船祭のパワーワードを考えよう」

### (2) 本時の評価規準

- ・学級生活の向上や諸問題の解決に関心を持ち、音楽コンクール・赤船祭へ向けた活動に自主的、自立的に取り組もうとしている。

### (3) 準備物

- ・ワークシート、電子黒板、ホワイトボード

### (4) 学習の流れ

過程	学習活動	指導上の留意事項 (○) 予想される生徒の反応 (・) 支援を要する生徒への手立て (◆)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力【評価方法】
	<b>1 課題の把握 [5分]</b>		
活動の導入	1. 始めの言葉 (副議長) 2. 議題の発表, 提案理由 (議長)	○事前にアンケートをとっておく。	導入の工夫
	単元を貫く問い：どのような行事ならやって良かったと思えるか。 議題：音楽コンクール、赤船祭のパワーワードを考えよう。		単元を貫く問い
	提案理由：この2つの行事は卒業式を抜くと、私たちにとって最後の行事になります。 1・2年生に伝えたい伝統や気持ちなどをよく考え、私たち3年生にとって最高の行事にするためにクラスでのパワーワードを考えていきましょう。		
	3. 先生から		

2 課題の探究 [20分]			
活動の展開	<p>4. 考えの確認 (アンケートの確認) アンケート内容: どのような音楽コンクール・赤船祭にしたいか</p> <p>5. 出し合う ・班でホワイトボードに書き込みながら少人数班で意見を出し合いながら整理する。</p>	<p>○電子黒板に一覧を出し、クラスで随時確認できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悔いの残らない最高の思い出にしたい。</li> <li>・全員が主役でみんなが一つになれる。</li> <li>・涙と笑顔が大切。</li> </ul> <p>○アンケートを元に4のために何を頑張るのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いを大切に全力で練習する。</li> <li>・全員が主役になれるよう協力する。</li> </ul>	<p>ICTの活用</p> <p>ホワイトボードの活用</p>
	<p>6. わかり合う ・ホワイトボードに書いたことを他の班に説明する。</p> <p>7. 比べ合う ・クラスで出た意見を深める。 (疑問に思ったことや異なる意見に対して質問など)</p>		<p>ホワイトボードの活用</p>
5 課題解決についてまとめ。 [25分]			
まとめ	<p>8. まとめ合う</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①個人の考えを整理</li> <li>②班の考えを整理</li> <li>③クラスで出た意見を深める</li> <li>④クラスの意見を聞いてパワーワードを決める。</li> </ol>	<p>○今までの考えや思いを含め、3-3にふさわしいパワーワードを考える。</p>	<p>・学級生活の向上や諸問題の解決に関心を持ち、行事へ向けた活動に自主的、自立的に取り組もうとしている。</p> <p>(知・技)</p> <p>【観察・ワークシート】</p>
	<p>9. 自己評価, 感想の記入</p> <p>10. 先生の話</p> <p>11. 終わりの言葉 (議長)</p>		